

2017年6月1日

報道関係 各位

東京家政学院大学

## 初めて千代田 KVA 祭（ローズ祭）で「花絵」登場。 学生がバラ 3 千本でバラを制作します。

—千代田 KVA 祭（ローズ祭）で、学生が花絵師藤川靖彦氏の協力を得て制作・公開—

6月18日（日）の千代田 KVA 祭（ローズ祭）で、本学学生が「花絵」を制作・公開します。制作にあたり「花絵」の第一人者である藤川靖彦氏（下記参照）が全面協力。今後、これを機会に、あらゆる場所で「花絵」制作が広まることに学生も期待しています。

「花絵」とは、花びらや草木、種等といった自然のものを素材に描くアート。本学学生はバラを使って本学の校章であるバラの「花絵」にチャレンジします。使用するバラは約3000本。制作場所は本学千代田三番町キャンパスのロビーを予定。ローズ祭前日（17日）8時半から制作を開始。花むしり、制作を合わせて所要時間はおよそ5時間。

そもそもこの企画は千代田区観光協会（森川清司郎会長）の賛同もあって始められたもの。本学学長 廣江彰も「“インフィオラータ”はそもそも宗教的儀式の一環。それを生活の中に取り込み、生きた花で大地を飾る。そこに地域の特色や意思が滲み出て来ます。いずれこの千代田区の道路を使い、たとえば複数の女子大学の学生が中心となって、地域の人々と協働して「花絵」を制作する定期的な催しになれば街が華やぎます。今回はそのための第一歩」と語っています。

○ローズ祭実行委員会実行委員長 佐藤文香

「学校の校章となっているバラの花で何かできないかと思い、花絵に挑戦させていただきました。今回のデザインの中には校章が隠れていますので、探してみてください。ぜひ、お花で彩られたローズ祭にお越しください。」

【藤川靖彦 氏】限りある命=Ephemeral をテーマに、国内外において花やキャンドル、流木等を使ったアートを創作するエフェメラルアーティストとして活動。大地をキャンバスに花びらで描く花絵「インフィオラータ」の日本の第一人者。近年は海外で歌舞伎絵を花で再現する「花歌舞伎」の創作活動を積極的に行っており、世界各地から創作の依頼が殺到し、近年はテレビ番組「情熱大陸」で紹介される等、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等に数多く出演。ローマ法王等、VIPに捧げる作品も創作している。

※千代田 KVA 祭（ローズ祭）について

日時：平成 29 年 6 月 18 日（日）10：00～16：00

場所：千代田三番町キャンパス（〒102-8341 東京都千代田区三番町 22）

★本件（広報）についてのお問い合わせは以下へお願いします。

東京家政学院大学 入試広報グループ（大学広報担当）和久 雄亮

〒194-0292 東京都町田市相原町 2600 番地（町田キャンパス）

TEL:042-782-9412 FAX:042-782-1711 E-MAIL:waku@kasei-gakuin.ac.jp